

吉林省教育学院概況

吉林省教育学院は1957年に省政府によって設立され、省教育庁が直轄している。諸教育計画は国家教育部の審査を受ける師範型成人高等教育機関である。

学院の設立から48年が経過した。当学院は一貫して基礎教育に貢献する学校の運営方針を堅持し、教学、教育の研究、教員研修及び小中学校校長の研修の方面で吉林省の基礎教育のために役割を果たしてきた。

改革開放以後、当学院の事業は大きな発展を遂げた。現在、国語、政治、教育経営、外国語、数学、物理、化学、芸術、コンピューター、現代教育技術など10種類の学部がある。職業技術学院には国語、公共関係と秘書、政治、マーケティング理論、歴史、教育経営、英語、通商英語、数学、情報とメディア、物理、化学、コンピューター芸術設計、コンピューター応用、現代教育技術、メディア宣伝技術、映画芸術技術など17種類の専門科目がある。組織として、小学校部、中学校部、高等学校部、総合部、職業教育部、民族教育部、幼・小教員研修センター、カリキュラム改革研究室、実験センター、情報処理センター、教科書開発室、新聞・雑誌室、図書室などが設置されている。

当学院の教職員数は433人で、各教科の担当教員が276人を占めている。その中に、博士後¹5人、博士16人、修士34人、教授33人、助教授が125人いる。

研修の面で、吉林省の23.9万人の小中学校教員中、5.2万人の教員がすでに当院で研修を受けている。また全省の1万人余りの小・中学校校長が校長になるための資格を得ることと職務向上のために研修を受けた。

教育の研究の面で、東北師範大学附属小学校、東北師範大学附属中学校のなどの諸小・中学校の素質教育の先進的な経験に基づいて李元昌、張再昌、趙謙翔、などの教育、教授改革の模範教員を養成した。そして、10種類49冊の国家教科書と10種類46冊の地方教科書を出版して、UNESCO（国連教育科学文化機関）の研究任務を果たしたのである。

「九五」² 期間と「十五」³ の初めの年に、当院は65部の専門著書を出版した同時に、学問レベルの論文を200編近く発表した。その中で30編は国際四大検索の中の一つのSCIに収録されている。20部（編）余りの著作（論文）は、吉林省政府社会科学優秀成果賞を受賞し、教育部から任された「九五」重点課題はすでに解決されるなど、その成果は見事である。

当院には、各種本科（四年制大学）、専科（2、3年制大学）在學生が900人近く、成人継続教育在學生が4608人、高等師範類自費生が6000人在学している。当院が養成した各

1：博士以上の学歴の取得者。

2：第9期5年計画の略称。1996年から2000年の間に実現する、中国政府が社会主義市場経済の活性化のために出した経済発展計画で、これは第9期の経済計画である。

3：第10期5年計画の略称。2001年から2005年の間に実現する経済計画。

学科、各レベルの人材は、全省内の各地域小・中学校に配属され、教育第一線で積極的に活躍している。国家教育部の「21世紀教員育成プロジェクト」の実施とともに当院は、教育部から小・中学校中堅教員の国家レベル研修所と命名された。3つの専門科目を7つのクラスに分け、二期にわたっての国家レベル中堅研修を通じ、22の省、市、自治区の294人の国家レベル教員が中堅教員の職に就いた。教育部のもとで、27ヶ所の国家レベル中堅教員研修部門が参加した国家レベル中堅教員研修審査で、当院はナンバー1の位置を占めた。最近、省レベルの中堅教員研修も動き出し、省内の各小・中学校800人余りの省レベル中堅教員が研修を受けている。

ここ十年以来、当学院の国際交流は大きな成果を挙げた。カナダ、ドイツ、日本、韓国などの高等教育機関と密接な連携を行っている。同時に、国内での協同学校経営も進展を見ている。海南教育学院、海南省瓊州大学、広東省南海市現代人材研修センター、及び広西南寧情報センターなどとの協同学校経営の規模はますます拡大しつつある。このような国内外機関が協力して基礎教育に必要な人材を育成する先駆的試みは、新世紀に入ってもっと拡大する良い見通しである。

最近、当学院の教職員は新しい共産党委員会のもとで、全国基礎教育及び吉林省基礎教育工作会議の内容、全省の基礎教育への貢献、全省教育教授の質の向上などを業務の目標とし、吉林省小・中学校教員研修部門、小・中学校教育研究所、小・中学校カリキュラム改革と実験所の役割が業務の重点である。現在、当院は特色のある国内一流の成人高等教育機関を目指して一層努力している。

*本資料は、2005年12月に訪問調査したときに収集した「吉林省教育学院作成パンフレット」(2005年12月収集)の翻訳である。